

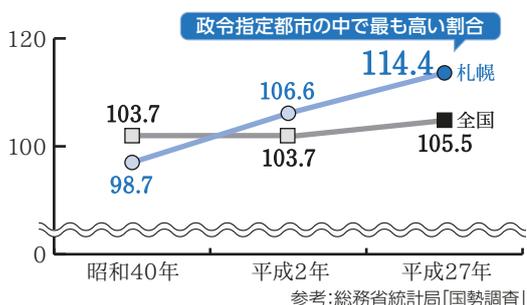
輝く 札幌の 女性たち

社会人として、母として、地域活動の担い手として——
札幌にはさまざまな立場で力を発揮している女性たちがいます。
今回は、そんな方々にこれまでの経験や今の思いをインタビュー。
女性がそれぞれの希望に応じて活躍できる街であるために、
大切なことを考えてみませんか。[詳細]企画課☎211-2192

札幌は女性の割合が高い街

市では、男性100人に対する女性の数が昭和40年以降増加しており、平成27年の調査では過去最高の約114.4人に。人口減少が予想される中、札幌が元気であるためには、ますます女性の力が大切になってきています。

■男性100人に対する女性の数(人)



一人一人の活躍が街の活力に

時代の流れとともに女性の社会進出などが進み、その活躍の場は多様化。さまざまな場で力を発揮する女性が増えています!



女性の不安を解消し、希望に応える環境づくりが大切

◆ 家族や会社の協力で、好きな仕事を続けられています

子育て×仕事

インタビュー①

1歳の子どもを育てながら働く
兼子 しおりさん



— お子さんを育てながら仕事もされていますが、一日の過ごし方を教えてください。

妊娠、出産を経て、今年4月に仕事に復帰しました。短時間勤務制度を利用しています。が、帰宅してからも、家事や子どもの世話と毎日忙しく過ごしていますよ。

— 子育てと仕事を両立する上で、苦労や悩みはありますか。

職場に復帰した頃は、子育ても仕事も理想どおりにはいかず、気持ちばかりが空回りした時期もありました。今は「完璧じゃなくても大丈夫」と考え方を变えて、効率を重視するようにしています。例えば、家庭では時短料理を活用する

とか。そうすると少しずつ、家庭と仕事の両方がうまくいくようになった気がします。

— 仕事に復帰して、周りの方の反応はいかがですか。

職場では、上司や同僚にすぐ助けられています。私の退社時間になると「お子さんのお迎えに行く時間ですよ」と声を掛けてくれて。心遣いが救いになっています。

— 周りの協力が助けになるのですか。家庭ではどうですか。

夫は働くことを応援してくれるので、家事や育児の面でも支えてくれます。家では慌ただしいので夫が帰宅すると安心しますし、協力し合える人がいるという精神的なサポートが、日々を乗り切れる一番の源になっていますね。



▲子どもと一緒に過ごす時間が短い分、一緒にいるときは一瞬一瞬を大切に過ごす

◆ 身近に感じてもらえるような上司でありたい

管理職

インタビュー②

企業で管理職として働く
熊谷 美保さん



— 長年今の職場で働かれているとのことですが、お仕事の内容を教えてください。

百貨店に勤めており、今はセールやイベントの企画、広報などに関する部門を担当しています。最初の12年ほどは一般職として、その後10年ほどは監督職であるマネジャーとして働き、昨年の8月から8人のマネジャーを統括する管理職に就いています。

— たくさんの部下を持つことに不安などはありましたか。

もちろん不安はありました。もったい目の指示ができればと反省することが今でもあります。でも、メンバーのみんなと一緒に成長していく気持ちで日々仕事をしています。

— 仕事のやりがいを感じる時はどんなときでしょう。

メンバーでアイデアを出し合って立てた企画が、行列ができるくらいヒットしたときはうれしいですね。仕事を通じて得られた人脈や体験は私の大きな財産です。

— 管理職として働く女性が今後増えていくと思いますが、

そうですね。あの人にもできるなら私も目指そうと思ってもらえるように働いていきたいです。それぞれの生活に合わせた働き方を選んで活躍していくことが大切だと思いますが、少しでも挑戦してみたいと思っている方がいたら、管理職を目指すことも選択肢の一つに入れてほしいですね。



▲部下のマネジャーとは積極的にコミュニケーションを取るようになっている

◆◆ 家庭の時間を最優先に自分のペースで活動しています



起業

インタビュー③

女性の起業の支援活動をする
しげみ 奈津子さん

——起業したいと思ったきっかけを教えてください。

出産を機に仕事を辞めて、2年間子育てに専念する間に、社会との接点も持たないという気持ちも徐々に芽生えたのがきっかけです。子どもと過ごす時間を第一にしながらできることはないかと思い、主婦が集まって話せる場を作ることから始めました。現在は、イベントやセミナーを開き、自分の生活スタイルに合わせて起業をしたい女性を支援する活動をしています。

——起業というと、ハードルが高い印象があります。

そんなことはないですよ。起業といっても規模はさまざま。趣味で作ったものを時々

売るなど、気軽に楽しく活動している方も多いですね。私も最初は何かから始めたらよいか分からなかったのですが、働く女性が集まるワーキングスペース（5階）などに通ってヒントをもらいました。みんなが子どもの面倒を見てくれるのも助かりましたよ。

——家庭の時間を優先しながら、楽しく活動できる秘訣は？

頑張るけど無理はしないということが一番大事だと思います。私の場合、家庭のほかに充実した時間を過ごすことで、家でも前向きな気持ちでいられます。何かしたいけど家族に気を使って言い出せない方もいるかもしれませんが、皆さんも一歩踏み出してみませんか。



▲イベントでは起業家同士をつなぐ役割を果たす

◆◆ 地域の方の笑顔が自分の喜びにもつながっています



地域活動

インタビュー④

町内会の女性部で活動する
木村 公子さん

——町内会活動を始めてどのくらいになるのですか？

8年前から活動をしています。高齢の方の見守りのような日々の活動や、バスツアーといった地域の方々に楽しんでもらえるようなイベントを企画していますよ。

——さまざまな活動をされていて、大変ではないですか？

大変という感覚はなく、皆さんが喜んでくださるのが何より楽しみですし、女性部ではそれぞれ得意分野を生かして、お互い助け合っていています。私は小学校で読み聞かせボランティアもやっており、元々そういった活動が好きなのかもしれません。

——家族の反応はいかがですか？

新しいことを始めるときには夫や息子に相談しますが「やってみたら」といつも背中を押してくれます。おかげでめりはりのある生活ができていますよ。

——地域での活動を通してどんなことを感じますか？

引っ越してきたばかりのときに「健診には行った？」と親切に声を掛けてくれた方がいてありがたかったです。それが町内会女性部の方だと後から知りました。自分もそういった地域のつながりを大事にしながら、笑顔で活動していきたいと思っています。



▲会議などの集まりでは談笑をしながら楽しく活動している

女性の活躍を応援する取り組みを進めています

さまざまな視点から女性の希望をかなえるまちづくりを考える

女性応援会議

働く希望をかなえられていない女性が多いといった市の現状を踏まえ、女性を取り巻く職場や家庭の環境などを女性の視点で捉え直して、必要な取り組みを検討する「女性応援会議」を設置。民間企業の経営者ら男性も含めたさまざまな立場の方が参加しています。2/3(土)には、講演やテーマごとの会議を行う「女性応援フェスタ」を実施します。



▶会議のメンバーは、市長のほか、スポーツや地域活動、ひとり親支援などの幅広い分野で活躍する方々で構成

会議のメンバーの方にお話を聞きました



会社経営者で
女性応援会議委員の
わたなべしゅんや
渡辺 淳也さん

男性を取り巻く環境も考え直すべき

札幌は長時間労働をしている男性の比率が全国平均の約1.5倍ということを知り、すごく驚きました。仕事を分担するなど、組み立て方を改革すると、男性が家庭にいる時間が増えて、女性が働きやすい環境づくりにつながっていくと思います。

働き続けることへの不安や悩みを解消しよう

女性のためのキャリアデザインセミナー

内容・日時 結婚、出産後も働きたい女性向け＝1/20(土)・27(土)・2/3(土)9時～12時。全3回。職場復帰を希望する子育て中の女性・配偶者向け＝1/18(木)・25(木)・2/1(木)9時～12時。全3回



定員・会場 各20人。エルプラザ(北区北8西3)

申込 電話、ファクス、Eメール、ホームページ。希望コース、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号(あればファクス、Eメールも)、託児希望の有無(希望する場合は子どもの氏名、年齢も)を記入し、12/11(月)からマミープロ(☎206-9150、FAX206-9750、Eメールinfo@mamanavi.tv、ホームページhttp://www.mamanavi.tv/2017sapporo/top)へ。先着
問い合わせ 雇用推進課 ☎211-2278

起業を目指す女性同士の出会いの場にも

働く女性のコワーキングスペース「リラコワ」

職種、年齢を問わず仕事や作業を行える共有スペースを無料で使えます

利用日時 火曜～土曜10時～16時30分(祝・休日、年末年始などを除く)

託児 水曜10時～12時。先着6人(要予約)

利用方法 初回利用時に登録が必要

場所・問い合わせ 男女共同参画センター(北区北8西3エルプラザ内) ☎728-1255



地域活動の拠点はこちら!

まちづくりセンター

市内の87カ所にあり、活動への参加相談もできます。お住まいの地域のまちづくりセンターは区役所(1ページ)地域振興課がホームページで確認を

まちづくりセンター 札幌

検索



一人一人が希望に応じて力を発揮できる街へ

女性が家庭、職場、地域社会などさまざまな場面で活躍するには、それぞれの希望に応えられる環境を整えることが大切です。市では、企業や団体、市民の方々から直接意見を聞きながら、活躍できる場面がより一層広がるよう取り組みを進めていきます。皆さんも、周囲の方の活躍を支えることも含めて、日々の生活の中でできることを考えてみませんか。

あきもと かつひろ
札幌市長 秋元 克広